

外国人留学生らが 日本語でスピーチ

飯塚市

飯塚市の外国人による日本語発表や高校生らの英語スピーチのコンテストが23日、同市役所の多目的ホールで開かれた。飯塚国際交流推進協議会の主催。

外国人の部では、中国人留学生や米国人の外国語指導助手（ALT）ら5人が登壇。インド・インパール出身で九州工業大情報工学部に通うクワイラクパム・サンジユクタさん（28）は第

2次大戦中、日本兵に食料を与え、遺体の埋葬を手伝った祖父との思い出を紹介し、「日本との縁は祖父から。助け合いの心を忘れず、大学の先生になる夢をかなえたい」と話した。

高校生の英語スピーチでは、6人が将来の夢や家族への思い、性的少数者を取り巻く環境などについて考えを訴えた。飯塚市の幸袋小と片島小の6年生のグループも英語で入学式や修学旅行の様子を紹介した。

（梅津健哉）



日本語でスピーチを行う
外国人の参加者